

地域ニュース

鍋横かわら版

発行 鍋横区民活動センター運営委員会

〒164-0012 中野区本町5-47-13

TEL 03-3383-2733 FAX03-3383-2734

Eメール nabekun2733@gmail.com

ホームページ <http://www.nakano-nabeyoko.gr.jp>



鍋横歴史探訪 その2...杉山公園(中野区本町6-15)

むかしお屋敷、今は公園

青梅街道と中野通りの交差点にある杉山公園、朝はラジオ体操に集まる元気なシニアの皆さん、昼間は元気に遊ぶ子どもたちの声が響いています。

地域活動の拠点として、祭礼や町会のイベント、奉納踊りや防災訓練、餅つき大会で大勢の人が集い賑わう杉山公園にスポットをあててみました。



明治 1908 1925 1931 1934 1950

杉山公園)に邸宅と庭園を構える。

杉山裁吉さん、娘さんの療養のために、自然豊かな地(現) 杉山公園)に邸宅と庭園を構築する。

明治41年 娘さんが25歳で亡くなる私邸の庭に親子三体の地藏尊を建立

昭和6年 杉山裁吉氏逝去
大正14年 邸宅と土地を中野町に寄付
昭和25年10月1日 中野区の区立公園として移管
昭和9年3月 東京市により「杉山公園」として正式開園

新中野町会長 漆原勲さん



杉山公園では、現在も新中野町会により裁吉さんの命日5月18日と春秋のお彼岸、お盆の年4回、親子地藏の供養を役員で行っています。



中央に本地蔵尊(母の霊を象徴) 左右に子地藏(娘のみさをさんと子どもたちの健やかさの象徴)

杉山公園の花壇には、いつも季節の花がいっぱいです。花壇づくりを行っているのは、なべよクラブ・ことぶき鍋横会。現在は会員の皆さんが丹精込めたマリーゴールド、日日草、ひまわりが咲いています。



杉山裁吉氏

明治~大正時代に北海道開拓にも関わった実業家として知られる資産家です。娘のみさをさんの病氣療養のため、自然豊かな環境の現在の杉山公園の場所に邸宅と庭園を構えました。娘さんは明治41年に亡くなり、大正14年(1925年)夫人の逝去をきっかけに、邸宅と土地を中野町に寄付し、親子三体の地藏尊(杉山地蔵尊)を建立して、地域の子どもの健康と成長を祈念しました。昭和6年(1931年)に裁吉氏が逝去し、昭和9年(1934年)3月に杉山公園として開園しました。

江戸時代の青梅街道

杉山公園は青梅街道沿いにあります。青梅街道は江戸時代に整備された脇海道の一つで、江戸から武蔵国青梅、さらに甲府方面へと通じる街道です。江戸中期以降、青梅周辺で伐採された多摩産の杉・檜などが筏で多摩川を下り、立川や府中で陸揚げされ青梅街道を通過して江戸の材木市場へ運ばれ、物流や地域経済を支える重要な道でした。杉山公園のある中央五丁目あたりは、農地と雑木林が広がり、江戸時代後期には杉山家がこの土地を所有していた可能性があります。

令和7年度「東京都地域の底力発展事業助成」対象事業【こどもと防災】主催:鍋横地区町会連合会(千代田・宮里・西町・鍋横・新中野・本六)

今年も「わくわく大作戦」開催 2025.7.26(土)~27(日)

今年で26回目となる「わくわく大作戦」、始まりは1997年の防災ファミリーキャンプ(中野区教育委員会と共催)でした。コロナ禍の3年間(2020~2022)は中止となっていましたが、一昨年から再開し、中野本郷小学校の建て替え工事と屋外での暑さのため、昨年からは第二中学校の体育館に会場を移して開催しています。

今年もプレーリーダーはキタちゃん(北見靖直さん)。中高生スタッフ48人が小学生のダンボールハウス作りのサポート、わくわくタイム(縁日とお化け屋敷)、準備や片づけにも大活躍! キャンプファイヤーの準備には本郷小 PTA わくわく委員さんが二中校庭で汗を流して準備し、夜には火を囲み、マシュマロを焼いて食べる体験もしました。



↑災害時に役立つミニ講座
ダンボールのトイレに座ってみる
←鍋横町会による夕食は
防災鍋で作ったけんちんうどん



ピンクのTシャツは 中学生スタッフ



子どもたちは
ダンボールハウス、
大人は災害時用の布
間仕切りを作成



参加者:子ども(幼児~小学生)61人・保護者20人
協力者:中高生48人、大人125人 総計254人
<協力団体>...
鍋横区民活動センター運営委員会、中野区、中野消防署・消防団、赤十字奉仕団鍋横分団、中野本郷小学校・PTA、第二中学校・PTA、二中ゆうねっと、青少年育成鍋横地区委員会、次世代育成委員、コブみらい東京4ブロック委員会、宮の台児童館

今年は例年に増しての猛暑です! 鍋横区民活動センター2階の区民コーナーを「涼み処」としてご利用ください。8:30~22:00